

町民と語る会を開催

恒例の町民のみなさまと語る会を、12月12日の閑地区を皮切りに、町内各地区で開催しました。例年より早い積雪で、足下の悪い中67名の参加がありました。その内容をお知らせいたします。

町長からの行政報告

- ① 9月24日の就任以来、議会の承認をいただき教育長、監査委員、副町長を選任しました。
- ② 12月17日に地域振興プレミアム商品券が販売されましたが、町もプレミアム商品券のため助成を行いました。
- ③ 増床の計画をしていたゆりの里については、建設資材の高騰など諸般の事情により、中止となりました。状況が変われば計画再開の依頼をしています。
- ④ 高齢者専用住宅建設の計画変更

ゆりの里の待機者は大丈夫なのか。

町民のみなさまが、安心して暮らせるまちづくりを行っていきます。事業の財源には、国の補助事業や町の貯金（基金）を活用していきます。

① 農林業を中心に、地場産業を活性化していき

主な意見交換

●蔵王の噴火の対策は。

◆関係市町村毎の対応となっています。火山灰は横川まで影響があると予測され、マグマ爆発では火山灰はダムまで及ぶ予測です。爆発が冬だと雪が溶けて泥流になる恐れもあります。

●小学校が統合して、子供たちはうまくやっているか。

◆子どもたちは、前年度から交流をしていたため、比較的早く仲良くなりました。湯小からの子供たちは、転校生のように初めは慣れなかったようですが、今は問題ありません。バス通学でなかった子供は、当初疲れが見えましたが、今は慣れたようです。

ます。町内で求人があっても応募者がいません。住宅があり若者が定着していれば状況が違ってきます。募集記事も発信していきたい。

② 農業の法人化を進め働く場を作っていくたい。

③ パイプハウスのリース事業に取り組み、少量多品目の園芸栽培をし直売施設の充実を行いたい。

④ 町の面積の90%を超す山林を活用し、林家の収入増につなげたい。

⑤ 若者定住住宅
若者の定着には住宅が必要。4年間で20棟建設し、若者を町外から呼び込みます。地域担い手住宅は1年に2棟、計8棟建設したい。20年間生活すれば住宅と土地を提供します。

応募要件は中学生以下のお子さんをお持ちの方。

⑥ 空き家対策
現在約70棟を超す空き家があるので、所有者の了解を得て再利用を図りたい。また、空き家をデータ化して管理していきます。

⑦ 子育て環境の整備
子育てしやすい環境として、保育料減免を拡充します。子育て支援金は4回に分けて支給します。総額で第1子30万円、第2子50万円、第3子以降70万円を4回の節目に分けて支給します。医療費の無料化は18歳まで（高校3年生）拡充し、学校給食費も助成します。

⑧ 生活環境の整備
今の若者はコンビニがないと生活できない。

い。商工会と連携しコンビニ、ミニスーパーを実現したい。

⑨ 都市との交流
現在は50万人の交流人口。七ヶ宿ダムを重要な観光エリアと考えています。旬の市とスキー場をひとつのエリア、長老湖と横川のエリアと合わせ、3つのエリアを再整備し、ファンを増やしていきたい。

⑩ 女性委員会
女性の活躍が重要と考え、婚活も含め、子育て、商品開発など女性ならではの意見を活かしたまちづくりを行うため、女性委員会を立ち上げます。
政策実現には多額の財源が必要になるが、勇気を持って実施していきます。

ゆりの里の待機者は大丈夫なのか。

◆増床計画当初は、15名の待機者がいましたが、そのうち11名は他の施設に入所しています。残る4名の待機者については、生活の状況を含め、改めて調査していきます。空きがあれば、町民の入所を優先することは約束されています。

●プレミアム商品券はもっと早く発売してほしい。あと1ヶ月早ければ、冬に向けての灯油代に利用できた。

◆12月の議会を待っての発売となったので遅れてしまい申し訳ない。来年は冬の備えに間に合うようにします。

●柏木山のメガソーラー事業について、売電ができなくなる

●この報道があるが、この事業についてどう考えているのか。

◆放射能汚染により利用できない放牧場でメガソーラー事業を行う計画ですが、農振除外の問題を解決できなくて進まない状況です。報道にありました東北電力の買取保留は継続していますが、まもなく再開される予定です。この事業は、町が運営するのではなく、発電事業者が土地を貸し貸付料と固定資産税を得るものです。現在町では、農地の手続きが完了するよう県や国に申請しています。

●診療所の医師の宿直について現在はないが、このことについてどうお考えか。夜間に体に変調があった場合どこに連絡したらよいかも分から

●診療所には宿直がいるので、夜間に電話等あれば、宿直から看護師に連絡が行くようになっていきます。看護師に症状を話せば看護師が対応しますので、なにかあれば、診療所に連絡して下さい。診療所の先生に夜間の対応についてお願いはしています。事情があり了承を得られていません。代替案としては、夜間に代診の先生を委託する方法も考えられますが、委託費用等が必要になります。

●白石市で行っているような消防・安心メールサービスを七ヶ宿で行って欲しい。

◆七ヶ宿宿町でもできるように検討します。

●バスの運行について、白石線からの最終便の接続便を増便してもらいたい。

◆最終便の運行に係る費用は、年間500万円と試算しています。今すぐの増便は難しいので、現状では保護者のご協力をお願いします。また、その他のバスダイヤの見直しを含めて、総合的に見直しを図ります。

●地域おこし協力隊について、定住する気持ちはあれば、配置して欲しい。

◆現在5名の隊員がいますが、一期生は集落支援、二期生は農業の担い手を目的としています。来年度も募集する予定です。その中で検討します。住宅及び農地の斡旋をしていただけると幸いです。